

北海道高等学校文化連盟

第 23 回全道高等学校英語弁論大会 実施要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道札幌手稲高等学校
- 3 日 時
 ディベートの部 1 日目 令和 4 年 10 月 29 日 (土) 9:00~16:30
 ディベートの部 2 日目 令和 4 年 10 月 30 日 (日) 9:00~13:00
 スピーチの部 令和 4 年 11 月 3 日 (木) 10:30~15:50
- 4 会 場
 ディベートの部: 未定 (札幌市内) ※状況によりオンラインの可能性あり
 スピーチの部 : 未定 (札幌市内) ※状況によりオンラインまたは動画審査の可能性あり

- 5 日 程 ※対面開催時の時程 (状況により変更の可能性あり)
- ディベートの部 1 日目: 10 月 29 日 (土)
- | | |
|-------------|-----------------|
| 10:00~10:30 | 受付・ディベートジャッジ打合せ |
| 10:30~10:45 | ディベートの部開会式 |
| 10:55~12:05 | 予選第 1 試合 |
| 12:05~12:45 | 昼休み |
| 12:45~13:55 | 予選第 2 試合 |
| 14:05~15:15 | 予選第 3 試合 |
| 15:25~16:15 | 交流会 (予定) |
- ディベートの部 2 日目: 10 月 30 日 (日)
- | | |
|-------------|----------------|
| 9:00~9:20 | 受付・準備 |
| 9:20~10:30 | 予選第 4 試合 |
| 10:30~11:30 | 集計・予選会場片付け |
| 11:30~12:40 | 準決勝 |
| 12:40~13:20 | 昼休み |
| 13:20~14:30 | 決勝 |
| 15:00~15:30 | ディベートの部表彰式・閉会式 |
- スピーチの部: 11 月 3 日 (木)
- | | |
|-------------|----------------|
| 10:30~11:00 | 受付 |
| 11:00~11:15 | スピーチの部 開会式 |
| 11:15~11:45 | スピーチ発表 1~4 |
| 12:00~12:30 | スピーチ発表 5~8 |
| 12:30~13:20 | 昼休み |
| 13:20~13:50 | スピーチ発表 9~12 |
| 14:00~14:30 | スピーチ発表 13~16 |
| 14:40~15:10 | スピーチ発表 17~20 |
| 15:30~15:50 | スピーチの部 表彰式・閉会式 |

【ディベートの部 (10/29, 30) : 実施要領】

- 1 参加資格
- ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する 3 年生までの生徒。
 - ・英語のネイティブスピーカーは不可。
 - ・以下の海外生活経験者等の条件に該当するものはチームに 2 名まで。
 ※ただし、試合には該当生徒のうち 1 名のみが出場できる (該当の 2 名は交代で出場できる)
 - (1) 英語を第 1 言語とする国で 12 ヶ月以上滞在経験のある生徒 (就学前の滞在は不問)
 - (2) 英語を第 2 言語とする国の出身である生徒 (就学前の滞在は不問)
 - (3) 家庭で常用的に英語を使っている生徒
- 2 チーム構成
- ・各校 2 チームまで (参加チーム数が奇数の場合、例外あり)、1 チーム 6 名までとする。
 - ・原則試合への出場は 4 人で、試合毎にメンバーの入れ替えは可能 (但し、チーム登録できる選手が 3 人しかいない場合は例外を認めるが、全国大会へは出場できません)。
 - ・他校との合同チーム編成可 (但し、全国大会へは出場できません)。

- 3 対戦方法 予選4試合を行った後、上位4チームが決勝トーナメントへ進む。
- 4 論 題

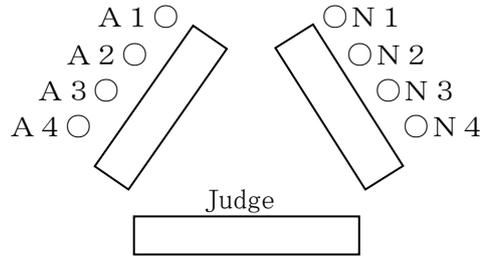
Resolved: That the Japanese Government should abolish the mandatory retirement age systems. (日本政府は、定年制を廃止すべきである。是か非か。)

※付記事項、追加ルール等の補足・詳細については全国高校生英語ディベート連盟ホームページ <http://henda.global/>を参考にします。
- 5 競技規則 競技は全国高校生英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行うものとする。上記の連盟ホームページを参考にしてください。
- 6 参加費 1チームにつき3,000円
- 7 申込方法
 - ・参加申込書に必要事項を記入し、全道事務局にメールで提出して下さい。
 - ・大会について不明な点は全道事務局までお問い合わせ下さい。
 - ・申し込みが奇数校の場合、出場校を偶数にそろえるため、さらに1チーム追加出場させることを希望する学校は、申込書にその旨を記載してください。※出場申込書は、国際交流専門部 HP (<https://kokusaikouryu.jp.net/>) よりダウンロード可
※メール送信先：道高文連国際交流専門部事務局 小西 陽子 ykonishi@hokkaido-c.ed.jp
- 8 申込締切 令和4年9月30日(金)までに出場申込書をメールで提出してください。
- 9 選抜方法 参加校数(チーム数ではない)に応じて、全国大会出場枠が与えられる。
- 10 表 彰 1位・2位にカップ+賞状、3～4位に賞状を授与。
その他、個人賞としてベストディベーター賞を選出。
上位校は12月17日(土)～18日(日)の全国大会(オンライン)への出場権が与えられます。
- 11 その他
 - (1) 地区大会を開催する支部もありますが、地区順位にかかわらず参加可能です。
 - (2) 引率の先生方にはジャッジをお願いします。
 - (3) 複数チーム参加する学校は、複数のジャッジの参加派遣をお願いします。
 - (4) 昼食は各自で持参してください。ごみの持ち帰りにご協力ください。
 - (5) 宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
 - (6) オンライン開催に切り替わった際は、全国大会を参考に実施します。HENDA(全国高校生英語ディベート連盟)のHPをご覧ください。
 - (7) 当専門部 HP (<https://kokusaikouryu.jp.net/>) に随時お知らせを掲載します。
- 13 事務局 札幌手稲高校 小西 陽子
TEL: 011-683-3313 MAIL: ykonishi@hokkaido-c.ed.jp

発言の順番

A : 肯定側

N : 否定側



発言者	役割と内容	時間
A	①肯定側立論 (メリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
N 4 → A 1	②否定側質疑 (否定側からの質問に肯定側 A 1 が答える)	2分
N 1	③否定側立論 (デメリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
A 4 → N 1	④肯定側質疑 (肯定側からの質問に否定側 N 1 が答える)	2分
	準備時間	2分
N 2	⑤否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3分
A 3 → N 2	⑥そのアタックへの質問 (肯定側 A 3 からの質問に否定側 N 2 が答える)	2分
A 2	⑦肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3分
N 3 → A 2	⑧そのアタックへの質問 (否定側 N 3 からの質問に肯定側 A 2 が答える)	2分
	準備時間	2分
A 3	⑨肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
N 3	⑩否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
	準備時間	2分
A 4	⑪肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分
N 4	⑫否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分

42分

【スピーチの部(11/3) : 実施要領】

- 1 参加資格 (1) 各地区の代表者であること。
(2) 英語のネイティブスピーカーは不可。(留学生など、一時的に在籍している生徒のこと)
※全国大会出場枠のため第1部と第2部の生徒の区別をしますが、全道大会は従来通り競技を行います。
第1部参加資格生徒：下記(a)～(c)のいずれにも該当しない生徒
第2部参加資格生徒：下記(a)～(c)のいずれか一つに該当する生徒
(a) 満5歳の誕生日以降に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏(英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域)に居住した生徒。
※英語圏詳細については全英連HPを参照)
(b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカンスクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に在籍し、その教育を受けたことのある生徒。
(c) 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。
- 2 各地区からの出場者数 (1) 地区大会の参加者数が10名以下の場合 1名
(2) " 11名から17名の場合 2名
(3) " 18名から24名の場合 3名
(4) " 25名以上の場合 4名
- 3 参加費 2,000円(当日会場にて納入。動画審査時は所定の口座に振り込み。)
- 4 演題 地区大会で発表したものとする。地区大会後、タイトルとテーマの変更がない限り多少の訂正を認めるが、申込後の変更は一切認めない。
- 5 制限時間 4分30秒～5分30秒(開始後4分30秒で1回、5分で1回、5分30秒で2回ベルを鳴らします。)
- 6 審査 (1) 審査基準
- | | |
|-------------------|-----|
| ① 内容(Content) | 10点 |
| ② 英語・態度(Delivery) | 10点 |
| ③ 応答(Q & A) | 4点 |
| ④ 時間(Time) | 1点 |
| 合計 | 25点 |
- (2) 審査員 審査団は8名程度で構成するものとし、そのうち英語を母国語とする審査員を1～2名含みます。常任委員を含め経験ある教員を審査員に加えるものとし、その教員の学校の生徒が競技に参加している場合、その生徒については審査をしないこととします。各審査員による審査ポイントのうち、最も高いものと、最も低いものは全体の審査に反映させないこととします。審査ポイントの平均点が生徒の得点になります。
- スピーチ及び応答(Q&A)にマイクを使用します。質問はYes-No、Wh-, Howの区別なく2つされます。
- 7 表彰 1位から5位を表彰します。特別賞1名
上位2名は全国大会への出場権が与えられます。その内訳は、第1部参加資格生徒で最上位の生徒と、その生徒を除く最上位の生徒になります。オンラインで実施される第15回全国高等学校英語スピーチコンテスト(令和5年2月5日(日))への出場権が与えられます。
- 8 申込方法 全道大会の出場権を得た生徒は次の2点を全道事務局にメールで提出してください。
(1) 出場申込書
(2) スピーチ原稿[A4縦横書き(余白22mm, 文字数44, Wordにて作成)
タイトル・名前・学校名・本文の順にお願いします。添付ファイル名は学校名+生徒氏名
※出場申込書は、当専門部HP(<https://kokusaikouryu.jp.net/>)よりダウンロード可。
※メール送信先：道高文連国際交流専門部事務局(札幌手稲高校) 担当：小西 陽子
MAIL: ykonishi@hokkaido-c.ed.jp
- 9 申込締切 令和4年9月30日(金)までに出場申込書+スピーチ原稿をメールで提出してください。
支部の開催時期により申込が間に合わない場合は事前にお知らせください。
- 10 その他 ・過去の全道大会のスピーチ原稿等資料が必要な方は事務局にお問い合わせください。
・全国大会への参加生徒及び引率教員の旅費、宿泊費については、参加校の負担になります。
・新型コロナウイルス感染症の感染状況により、動画審査へ変更になる場合もあります。
- 11 事務局 札幌手稲高校 小西 陽子
TEL: 011-683-3313 MAIL: ykonishi@hokkaido-c.ed.jp